

認定 NPO 法人 **リヴォルヴ** 学校教育研究所

ライス通信



第11号 2013年 4月発行

二の宮事務所

〒305-0051 つくば市二の宮4-3-2 二の宮コーポC101号
電話 029 (856) 8143 FAX 029 (896) 4035
E-mail rise@cure.ocn.ne.jp
ホームページ http://rise.gr.jp

ライス学園 谷田部教室

〒305-0861 つくば市谷田部2983 (アラキヤさん2階)
電話/FAX 029 (836) 8447

次代を生きる子ども達のために 教育に求められるもの

「教えること」と「育てること」は、どちらも大切であることは間違いありません。しかし「教え込むこと」に偏れば、子ども達の創造性は損なわれ、やがて社会は活力を失ってしまいます。

ライス学園には、様々な個性が集います。そんな子ども達に、私達はどのような方向性をもって、どのような学習支援に努めるべきなのか。先日のスタッフ研修は、「15年間で振り返る」ことから始まりました。

変わりゆく暮らし

15年前、あなたはどこで何をしていましたか。携帯電話でメール・サービスが始まったのが、16年前だそうです。携帯電話も、20年前にはまだ、ほとんど誰も使っていなかったのではないのでしょうか。

この数十年間で、私達の暮らしは大きく変わりました。さらにこの先、社会はどのように変わっていくのでしょうか。「〇〇が発明されている」などとは予想できても、それによって私たちの暮らしがどのように変わっているのか、これを正確に予測することは不可能に等しいかもしれません。

茨城県人の「イ」は正しい発音とは言えない？

今、茨城の公立中学校には「英語発音練習ソフト」が導入されています。生徒の発音を、コンピュータが判定してくれるというものです。しかし、国や地域が違えば、「正しい発音」も大きく異なる場合があります。

日本語の発音も、地域や個人によって異なります。‘sit’の‘i’の音と日本語の「イ」は大きく異なるとされますが、茨城弁の「イ」は、英語の‘i’の音にかなり近く発音されます。もしも学校に「日本語発音判定ソフト」が導入されて、「あなたの‘イ’の発音はおかしい」などとされたら、「よけいな世話だ」と腹が立つのではないのでしょうか。

それでも子ども達には「正しい日本語の発音」を、英語もアジアの国々で使われているものではなく、イギリスなりアメリカなりを基準とした「正しい発音」を身につけさせるべきでしょうか。

万緑の中や…

「ごんぎつね」を仕留めた兵十の気持ちは、「やっつけたぞ」が正解で、「しまった。殺すつもりはなかった」は間違いだそうです。しかし兵十の心の中に、「やった」という気持ちと同時に、一抹の寂寥感がなかったと誰が言い切れるのでしょうか。

中学で、中村草田男の「万緑の中や 吾子の歯 生え初むる」という句にふれたとき、私は感動でそこから先に進めなくなりました。次の時間も、またその次の時間も、同じ句を何度も読み返していました。

すると先生が近くにやってきて、「そんなにその句が好きか」と尋ねられました。小学校では同じような場面でもひどく叱られました。しかしそのときの国語教師、大田原先生はおだやかな笑みを浮かべていました。

「どこが、そんなに気に入ったの？」
「いや、何て言うか…それがうまく言えるくらいなら、ぼくがこの句を書いています」などと、私は言ったと思います。すると先生は、「なるほど、そのとおりだ。かんたんに説明なんてできっこないなあ」と、のけぞるようにして笑っておられました。

言葉にはできずとも

先行き不透明な、次代を生きる子ども達。今、教育に求められるものを一言でまとめれば「社会力」ということになるかもしれませんが、もちろん、基礎学力を疎かにすることもできません。

先日のスタッフ研修でも明確な結論を得られたわけではありませんが、それでいいのだとも思います。言葉だけで「わかったつもり」になってしまってもいけません。私達スタッフも、学ぶべきことは学び続け、試行錯誤を重ねながらも、それなりに精一杯に生きる姿を見てもらうことで、子ども達に何かを学んでもらえればと思います。

認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所
理事長 小野村 哲



毎年恒例 みんなで田植え

2012年度のライス学園

ライス学園では、今年も「つくばリサイクルマーケット」に参加しました。子ども達の参加の目的は東日本大震災の被災地支援、保護者の皆さんもライス学園の活動支援のためと一緒に参加してくださいました。

開店に間に合うように大量の荷物を運び、お客さんが買いやすいように商品を並べ…と大忙し！ 次第に慣れてきた子ども達は、大きな声で「いらっしやいませ〜」「お買い得ですよ」「今買わないで、いつ買うんですか〜」などそれぞれが考えた言葉で、お客さんを呼び集めます。わが子の姿に、「こんな一面もあるんですね」といったお父さんも。

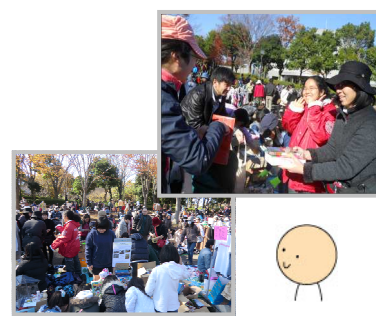
この日のためにビジネス書を読んできたというY君は、丁寧なお辞儀と言葉遣いでお客さんに接していました。また、最初に被災地への文房具支援を提案した卒業生のY君も、お母さんと一緒に駆けつけてくれました。

閉店時間を過ぎても客足が絶えないほどの盛況で、子ども達の売上げは 34,642円の新記録です！ このお金は、津波で大きな被害を受けた小中学校にお送りしました。

小さなラブ&リー農園では、収穫した人参を生のまま丸かじりで食べたり焼き芋を楽しんだりしました。「安全」を年間の学習テーマとした「ライスタイム」では、近くの消防署を訪れ、救命救急講習を受講しました。みんなで声をかけあい、すばやく確実な救命措置！ 消防署の方からも大きな拍手をいただきました。



救急救命講習
全員が修了証をいただきました



お天気にも恵まれた
つくばリサイクルマーケット



カルチャー教室：農園体験
イチゴやそら豆も植えました



授業風景（英語）
小中学生と一緒に学んでいます

「ライス学園日記」

<http://rise.gr.jp/rise> もごらんください！



ライス君

みなさんのご支援のおかげで リヴォルヴが「認定」NPO法人になりました

2013年3月6日付けで、リヴォルヴ学校教育研究所は「認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）」として認定を受けました。

これもひとえに、皆さまのご支援、ご協力があったからこそです。スタッフ一同、あらためて心よりのお礼申し上げます。

認定NPO法人とは

「運営組織や活動が適正で、公益の増進に寄与するための要件を満たす」と認められたNPO法人を指します。以前は国税庁長官から認定されましたが、法改正に伴い、当法人は茨城県知事より認定を受けました。

寄附者にも税制上の優遇措置があります

認定NPO法人に対する寄付は、寄付者が税控除を受けられるなどの利点があります。所得税からは最大で、実際の寄付金額から2,000円を引いた額の40%の控除を受けることができます。

法人が認定NPO法人に寄附をした場合は、一般寄付金の損金算入限度額とは別に限度額が設けられ、その範囲内での損金算入が認められます。

減税額の一例

	1万円の寄付	5万円の寄付
税額控除（寄付金額-2,000円）×40%	3,200円	19,200円

リヴォルヴの活動は、皆さまご寄附によって多くを支えられています。今後とも、ご支援をお願い申し上げます。
いばらき未来基金のサイトを利用いただければ、自宅に居ながらにしてご寄附いただくこともできます。

<http://ibaraki-mirai.org/report/000316.html>

【注】寄付金控除を受けるためには、確定申告を行う必要があります。詳しくは、内閣府NPOホームページをご覧ください。



苦手を防ぎ得意を伸ばす 「英語カレンダー」をご活用・ご紹介ください

なぜ「英語」でつまずくのか

英語学習におけるつまずきのおもな理由としてあげられているのが、「音いん的気づき」の不足、「h + it = hit / hat - h = at」のような「音の足し算・引き算（音いん操作）」への不慣れです。

たとえば

‘eat ⇔ meat ⇔ team ⇔ steam ⇔ stream ⇔ scream ⇔ cream’

のような語は、「ea」は「イー」と発音されることが多いと気づいていれば、あとは「音の足し算・引き算」だけで簡単に覚えることができます。

1単語×365日で苦手を防ぎ、学び取る力を伸ばす

しかし、ここに気づいていない子はたくさんいます。数学では100点をとるような子が、「h+eat」を「ハイト」として、聞き覚えのあるはずの「heat：熱」に結び付けられなかったりすることもあります。「音いん的気づき」の大切さや、「音いん操作」の際に子ども達が示す困難については、教育現場でもまだ十分には理解されていません。

このカレンダーでは1日1単語ずつの練習で、音についての気づきを促し、「音いん操作」の苦手を軽減するように単語が配置されています。さらに、子ども達にとって身近な単語を中心に取り上げることで、英語の対する興味・関心を高め、毎日の生活の中で自ら学び取る力を養います。

「RISE English Course 英語カレンダー」はリヴォルヴのホームページ <http://rise.gr.jp/> から無償でダウンロードいただけます。書くことの苦手を防ぐ準拠「練習シート」や「英単語Tips！（指導のヒント、秘けつ!）」も公開していますので、あわせてご活用ください。

May		5 Sunday
6 Monday	7 Tuesday	8 Wednesday
seed 種・種子	speed 速度・速さ	feed エサを与える・養う
9 Thursday	10 Friday	11 Saturday
fee 手数料・料金	free 自由な・無料の・ひまな	tree 木

震災に被災した子ども達に、花苗を届けよう

ご結婚やお引越しなど、近々、切手やハガキをまとめて購入される方はいらっしゃるいませんか。リヴォルヴ学校教育研究所では、全国の皆さまからお届けいただいた書き損じハガキを新しい切手やハガキと交換し、これを現金化することで、宮城県東松島市の小中学校に花苗などをお届けしています。

花苗はできるかぎり現地の園芸農家さんから購入し、地域経済の活性化にも努めています。皆さまのご協力をお願いします。



花苗をお届けした
東松島市立宮戸小学校のみなさん

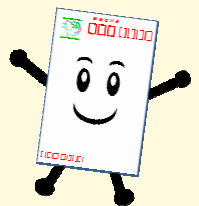


お届けした
花々



東松島市
尾形園芸さんで

ご購入の方は事務局まで
ご連絡ください。



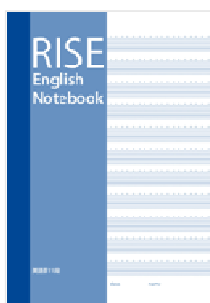
活動の詳細については、http://rise.gr.jp/hisaitishien_pj をご覧ください。

リヴォルヴの教材を購入して 子ども達の学びを支えよう！

震災に被災した子ども達の学びを支えよう

RISE 英語（4線）ノートは、東日本大震災被災地支援をきっかけに生まれました。そこには、苦手を防ぎ、得意を伸ばすリヴォルヴならではの工夫が凝らされています。

印刷費等を除いた収益は、すべてを東日本大震災に被災した子ども達の学びを支えるために活用します。



- ◎ 文字や単語を正しい位置に、適切な間かくをあけて書けるよう、4線内をうすいブルーグレーに着色、各行にドットを打ちました
- ◎ ‘ea /i:/=eat’ など、「音の足し算・引き算」の基礎となる単語を一覧にして、各ページの下部に示しました

「いばらき」の子ども達の学びを支えよう

会社やお店の来年のカレンダーを、リヴォルヴの英語カレンダー（月めくり）で作ってみませんか。これまでにない工夫を凝らした英語カレンダーは注目度抜群です！

印刷費等を除いた収益は、すべてを「いばらき」の子ども達の学び・育ちを支える活動のために活用します。県内の観光地を紹介する写真も添えて、地域の活性化にも貢献します。CSR活動の一環としても、ぜひ採用をご検討ください。

お問い合わせ、お申込みは、リヴォルヴ事務局までお願いいたします。



Facebook 開設しました いばらきの子育てどう(Do)? プロジェクト



「私の子育ては「よろよろ子育て」と言った人がいました。それでもいいと思いませんか。だからこそ、みんなで支え合えば…。

そもそも「いばらき」の子育て環境ってどうなんでしょう？ Facebook にあなたの声を寄せていただけませんか。いっしょに「いばらき」の子育ての今を見つめ、これからの子育てを考えてみませんか。皆さんの声、パワーが活かされれば、「いばらき」の子育て環境はもっと良くなるはずですよ。

<http://www.facebook.com/kosodate.do>

正会員・賛助会員募集



リヴォルヴ学校教育研究所ホームページからも、入会・継続のお手続きができるようになりました。ファックスやメール、お電話でのお申し込みも受け付けています。皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。

◎ 会員の種類

正会員 個人 5,000円 団体 10,000円 学生 2,500円
賛助会員 個人1口 3,000円 団体1口 10,000円 1口以上

詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

事務所では、毎朝、小野村先生が淹れるコーヒーで仕事が始まります。その間に、ライズ学園の卒業生からは「今日から社会人！立派に自立します(笑)」というメールが…。認定NPOになれたのも、皆さんに支えていただいたから…。感謝の気持ちの循環です。（松井由佳）